

教育

多久ロータリークラブから図書贈呈



6月15日、市役所教育長室で多久ロータリークラブ(前田憲秀会長)から10万円の図書が贈呈されました。「子どもたちに好きな本をたくさん読んでほしい、読書でいろんな知識を身に付け、自らが進むべき道を歩んでほしい」との思いから毎年贈られているものです。
多久ロータリークラブからの図書贈呈は、今回で11年目を迎えます。市内各学校の図書室から希望図書を募り、3校に計59冊の本を寄贈していただきました。本の贈呈は、学校現場にとって大変ありがたいことです。

◆孔子の教え「論語」のひろがり

6月11日、7時45分から放送されたNHK総合九州沖縄地方「アサタビ!」をみなさんご覧になりましたか?「多久聖廟」「東原庵中央校の論語教育の取り組み」「西山地区、棚田の田植え」「多久高校のクライミング」が紹介され、特に多久の論語教育は、市内外からも大きな反響があり、注目されました。

5月から始まった「帰宅放送の今月の論語」は、市民のみなさんから高い評価をたくさんいただいています。8月からは、子どもたちも参加する「帰宅放送」へと発展する予定です。ご期待ください。



問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

今月の論語

近き者説べば

遠き者来たる

そこに住んでいる人々が喜ぶような政治をすれば、よその人も慕ってくるようになる。

教育長コラム

ちよっといい話



「切ない気持ちが溢れる春」

2月号で紹介した「祖父が育てる姉弟」の弟が大工見習いとして働き始めたこと知らせがありました。よく本を読む礼儀正しく賢い姉弟、姉は高校卒業後に就職、弟は今年3月に中学を卒業した。進学を勧める担任や校長にも、祖父は「大工に預ける」の一点張り。祖父は入院されていたのです。
自身のこれから、孫の行く末を、深く考えられたことでしょう。私は、祖父の並々ならぬ覚悟を感じました。祖母他界の際、子ども達の養育を申し出た娘をも拒絶し、意地で育てた祖父なのです。
あの子は、きつと逞しく生き抜き、立派な大工になるはずです。

教育長 田原 優子

市民文芸

◆村度と云う字に引かれ辞書を引く
政治も我も神頼みする
田淵ミチ子

◆母子家庭 働く親に無意識に
飯が遅いと云ってた自分
野崎 隆幸

◆一面に杉の花粉の飛び散りて
マスクの人の多く行き交う
本村 則子

◆麦の穂の黄金に染まりザワザワと
風をまとい重たくゆるる
梶原恵美子

◆次々に民主的なるもの壊し
その手で共謀罪つくらむとする
尾形 節子

◆新緑に深呼吸して歩き出す
武富 律子

◆代り映えせぬものばかり
中嶋 清子

◆夕晴れの空に熟れゆくさくらんぼ
富樫 明美

◆牡丹散る花苳まつすぐ空を射る
おおやはな
田中あつ子

◆紫陽花の出番待ちある力かな
田中あつ子

◆聞き流すことも覚えた管理職
田代まつ子

◆父の日に父のおごりで食事会
田中久美子

◆自分だけ仕事したよに汗流し
秋永 保子

◆二人三脚結び直して金婚式
大谷 和

◆継続はいつかはきつと実を結ぶ
東島すみこ

川柳 《多久市川柳会 互選》

俳句 《互選》

短歌 《麦の芽短歌会 互選》